



埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第614号

平成26年12月20日編集

発行所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電話 048(645)1906
FAX 048(648)1865
E-mail: s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL: http://www.saitama-vma.org/
振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 高橋 三男

編集責任者 三森 信行

印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

(公社)埼玉県獣医師会 小動物臨床講習会・
集合狂犬病予防注射実施者講習会を開催 1
公務員獣医師の処遇改善について要請 … 6
動物用医薬品等の範囲に関する基準について … 8
獣医師による未承認再生医療等製品の対象動
物への使用に当たっての注意事項について… 8

会務報告

第3回狂犬病予防委員会…………… 9
テレビ埼玉にて高橋会長が新春年頭挨拶
(再掲)……………10

予告

さいたま市支部学術講習会のお知らせ…………10
西支部学術講習会のお知らせ……………11

ひろば

新入会員の抱負……………12
南第一支部・南第二支部合同学術講習会
開催報告 ……………12
FAVA(アジア獣医師会連合)第18回学術
大会(シンガポール)に参加して ……………13
高病原性鳥インフルエンザ防疫演習の開
催について ……………16
第128回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コン
ペ結果報告 ……………17

お知らせ

「家庭飼育動物(犬・猫)診療料金の実態調査」
の実施について(協力依頼)……………18
埼玉県獣医師会開業会員の確定申告個別
相談会開催のお知らせ ……………19
埼玉県獣医師会主催ボウリング大会開催
のお知らせ(再掲) ……………19
第11回日本獣医内科学アカデミー学術大
会参加者に対する助成金交付について
(再掲) ……………20
平成26年度「管理獣医師の実践的な技術・知
識を習得するための講習会」開催のお知
らせ……………20

切り抜きニュース

○鳥インフル厳戒
ー鶏舎の点検・消毒徹底ー……………21
○養鶏4000羽殺処分
ー宮崎で鳥インフルー……………22
○小型犬の大量遺棄
ーペット業界が抱える問題ー……………22

埼玉県獣医師会学術広報版……………24

事務局より

事務局メモ……………25

編集後記……………26

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう

1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう

1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう

1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう

1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

公益社団法人埼玉県獣医師会 小動物臨床講習会・平成26年度集合狂犬病予防注射実施者講習会を開催

平成26年11月19日(水)午後1時45分から、ソニックシティ(さいたま市)小ホールにおいて「平成26年度集合狂犬病予防注射実施者講習会」を開催しました。

この講習会は、埼玉県獣医師会が市町村との契約に基づき実施している集合狂犬病予防注射を的確に実施するために開催するもので、「集合狂犬病予防注射実施要領」及び「同細部要領」に定められている教育研修に位置付けられております。

今年度は、日本獣医師会の委託事業「小動物臨床講習会」も兼ねて開催するもので、狂犬病予防に加え、獣医療の課題や方向性などをテーマに幅広い視点での研修内容となり、集合狂犬病予防注射実施予定者の他、動物病院勤務会員や県・市町村の職員、関東・東京地区の各獣医師会などにもご案内し、381名もの多くの方々に参加をいただきました。

なお、「情勢報告」の講師には、日本獣医師会副会長の酒井健夫先生と顧問の北村直人先生を予定しておりましたが急な用務で出席できなくなり、急きょ、専務理事の矢ヶ崎忠夫先生に変更となりました。



主催者挨拶をする高橋三男会長

開会

長谷川繁雄狂犬病予防副委員長の司会により進行され、中村滋副会長の開会の後、高橋会長から「本日の講習会は、日本獣医師会の委託事業も兼ねて開催するもので、関東・東京地区獣医師会からも会長を始め多くの方に出席いただいている。最近、犬の遺棄など動物虐待の事件が発生しているが、人と動物の住みよい

環境を創るため、行政と一体となって動物行政を推進する必要がある。本日は市町村の方にも参加いただいております、このような機会を通じて、地域に根差した官民一体の体制を構築していきたい。埼玉県獣医師会は、公益法人として狂犬病予防接種の推進はもとより、動物愛護や人と動物の共通感染症の撲滅にも力を注がなければならない。このため先般、埼玉県医師会と学術協力の推進について協定を締結した。本日の講習会では、狂犬病予防接種の必要性や新しい時代における動物病院の姿などについて研修していただきたい。」との挨拶がありました。

続いて、司会者から講師が紹介され講演に入りました。

講演

最初の講演は「埼玉県における動物行政について」と題して、埼玉県保健医療部生活衛生課主幹の橋谷田元先生にお願いいたしました。狂犬病予防や動物愛護について行政の立場から埼玉県の取組や最近の話題などをお話いただきました。

講演内容は次のとおりです。



講演する橋谷田元先生

動物行政に関する県庁の事務には、保健所が行う狂犬病予防対策や動物取扱業の登録、特定動物の飼育許可などがあり、動物指導センターでは猫に関する業務や動物愛護の啓発などを行っている。また、生活衛生課ではこれらを統括している。

狂犬病予防対策に関して、鑑札や注射済票は平成19年の規則改正でデザインを市町村が独自に決められるようになり親しみやすい形状が普及してきている。犬の登録は死亡による抹消手続きが進んでいないことから、生後20年程度を経た登録については統計上からは除外できる

ようになった。

また、野犬の捕獲には、狂犬病予防法に違反する犬を「抑留」するものと、動物愛護条例に基づき繋がれていない犬を「収容」する制度がある。犬が人を咬んだ場合、飼主には、県への届出と動物病院での狂犬病に関する検診の義務がある。検診は2週間で3回の臨床検査となるが、この間、予防接種は行わずに経過観察し、仮に死亡した場合は、県が精密検査を行うこととなっている。

なお、海外渡航者向けに狂犬病の予防接種が受けられる医療機関は、厚生労働省検疫所のHPで確認できるので、参考にしていきたい。犬や猫などは輸出入時の検疫が義務化されているが、検疫をすり抜けそうになったケースも見受けられ、日頃からの水際対策や予防接種の重要性を改めて認識させられる。

過日、予防接種の実施頻度や実施時期の緩和について総務省が厚生労働省に対して勧告したが、厚生労働省としては、年1回の予防注射は必要であるが、実施時期については市町村の意見も聞きながら今後、検討したいとしている。

動物愛護に関して、県では動物愛護推進計画を策定して殺処分頭数の削減に取り組んでおり、年々処分数は減少してきているが、ひとり一人が各々の立場で問題意識を持つことが更なる削減に繋がっていく。

橋谷田先生からは、以上の内容の講演をいただきました。

これをもって、参加者全員を対象とした講習会は終了し、休憩を挟み午後2時10分からは、会員を対象として、獣医師でもある(株)ブイエムスリー代表取締役社長氏政雄揮先生の講演に移りました。

氏政先生からは「獣医療を巡る情勢と今後の方向について～どうする・どうなる!!時代の流れに即応した動

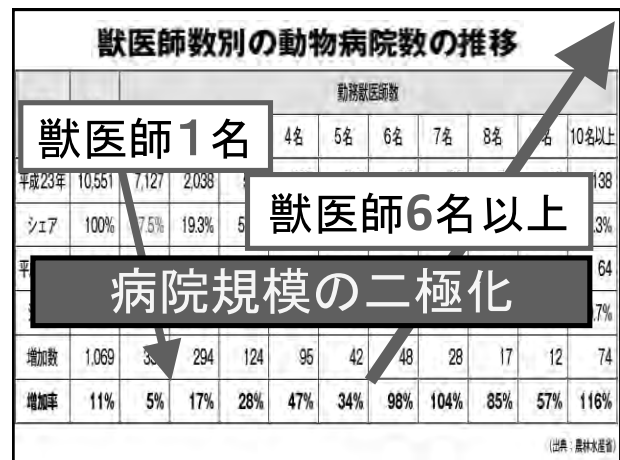
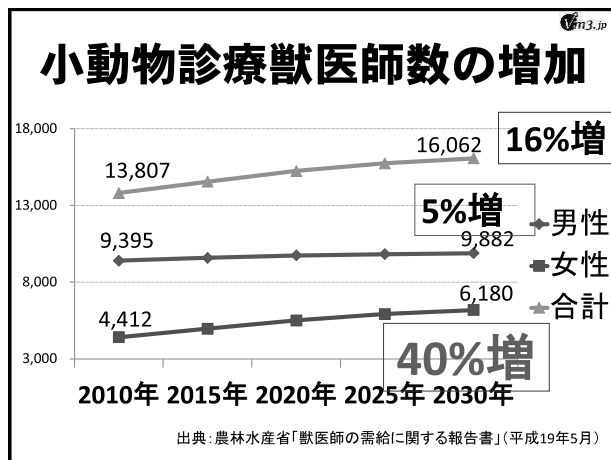
物病院を目指して～」と題して、これから訪れる高齢化社会や人口減少の流れを見据えて、今後の動物病院の有り方についてお話していただきました。

講演内容は次のとおりです。

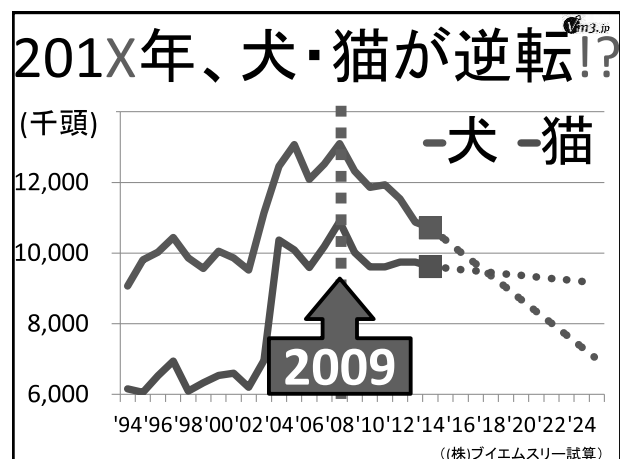
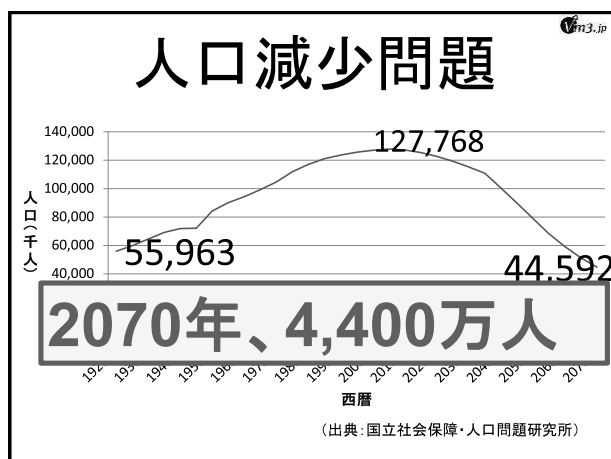
小動物診療に従事する獣医師は、これまで増加してきた。また、動物病院の獣医師は、一人が66%を占める一方で病院の規模拡大が進み、複数の獣医師が従事する病院が増加しており、規模の二極化が進んでいる。



講演する氏政雄揮先生



我が国では、今後、人口の急速な減少に伴い、犬の飼育頭数も減少し、更に、ペットの高齢化も進む。また、犬と猫の飼育数が逆転に向かうなど、これまでとは異なる情勢変化が予測される。動物病院は、飼主が望む病院像をしっかりと見据え、これらの情勢変化に対応していかなければいけない。



一般的に人口1万人に1つの動物病院が存在しており、開院に当たっては20年後の人口動態を見極めるとともに、開院後は地域社会との「絆」を築いていくことが必要である。多くの飼主は「一般的な病気」に対応してくれる動物病院を求めており、獣医師やスタッフには飼主の話を十分に聴き取り、納得するまで説明してくれることを望んでいる。このため、話しやすい雰囲気を創り、獣医師やスタッフの信頼感を高めることが必要である。そのほか、広告、特に、HPを活用する情報発信や、関連事業を取り込むことで顧客の範

飼い主が求める動物病院像

選択肢	結果	資質
① 有名な大学の出身である	1.4	
② 最先端の診療技術を習得している	18.1	
③ 動物・ペットの症状をよく聞いてくれる	69.1	2
④ 地域社会に密着し、社会活動に貢献	8.1	
⑤ 多くの論文を発表したり、学会に積極的に参加するなど勉強熱心である	1.1	
⑥ 飼い主の要望をよく受け入れてくれる	19.5	
⑦ 病気や治療法についてよく説明してくれる	72.1	1
⑧ 専門性の高い知識や技術を習得している	37.1	
⑨ 多くの症例の経験がある	35.3	
⑩ 親しみやすい	13.5	
⑪ 飼い主との優れたコミュニケーション能力	13.4	

(出典：農林水産省)

獣医師やスタッフが信頼できる？

- 飼い主は、それを何で決めるのか？
- 腕の良し悪し・技術の高低は判断できない
 - ✓ よく話を聞いてくれる
 - ✓ よく説明してくれる
 - ✓ 話しやすい雰囲気 **特に 院長！**
 - ✓ 獣医師と看護師の説明の一致
 - ✓ 説明通りに病気が治る(進行する)

囲を広げたり、往診や健康診断などで来院を促すなどの工夫が必要であるとのお話をされました。

氏政先生の講演に対し、会場のさいたま市支部の加藤拓也先生から、最近、多角経営で大きく営業展開している企業の動物病院を見受けるが、これらの病院が、今後、どのように事業を展開していくと考えているか、との質問がありました。これに対して、氏政先生は、これらの企業は、動物病院を利益率の高い小売店と位置づけている。獣医師が処方する薬剤や療法食の物販が目的であり、必ずしも技術レベルが高いとは言えない、との見解を述べられました。



質問する加藤拓也先生(さいたま市支部)

情勢報告

続いて、公益社団法人日本獣医師会専務理事の矢ヶ崎忠夫先生から、獣医師会を取り巻く情勢について、報告をいただきました。



情勢報告をする矢ヶ崎忠夫先生

矢ヶ崎先生からは、冒頭、講師として予定していた酒井副会長と北村顧問が急きょ、文部科学大臣と面談することとなり、出席できなくなったことをお詫びし、次のとおり報告をいただきました。

近隣諸国では現在もなお、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの発生が継続しており、獣医師は、これらの侵入防止に対処していく必要がある。また、伴侶動物の大量遺棄事件が発生するなど、動物の健康の確保と福祉の増進を通じ社会の期待に応えるために積極的に活動しなければならない。日本獣医師会と地方会とは、これら諸課題を解決するために全国獣医師会会長会議に常設の議長と副議長を設置し、連携を深めることとした。常設議長には、

高橋埼玉県獣医師会会長に就任いただき、地方会の意見取りまとめにご尽力いただいております。地方会と一体となって諸事業を展開したい。

狂犬病対策をめぐる現状と今後の対応について、狂犬病は、近年、発生がなく、予防注射の意義に対する

国民の理解が十分でない。狂犬病予防注射事業が適切に実施されるように、活動内容を抜本的に検討するため、委員会を立ち上げ、来年6月までに結論を得られるように検討が進められている。

獣医療提供体制の整備について、獣医師のうち20歳代では女性の割合が50%を超え、今後、更に増加してくる。一方、女性獣医師の離職率は高く、750人が無職であることから、女性の活躍を促進しなければならない。

獣医師会と医師会の学術連携への対応について、平成25年11月に日本医師会と日本獣医師会とで協定を締結し、学術情報を共有し、連携・協働することで合意している。地方会でも医師会との連携のために協定締結が進められており、今後、委員会で具体的な活動などを協議していく。

公務員獣医師の処遇改善運動について、6年制になって30年が経過しているが処遇は従前のままであり、獣医師の人材が不足する状況にあって処遇を改善することで人材確保につなげる必要がある。

動物看護師の公的資格制度の創設に向け、これまで、「日本動物看護職協会」や「動物看護師統一認定機構」を設立してきた。教育の斉一化については、最低限のカリキュラムを提示し、これに沿った教育を推進している。

獣医学教育の環境整備・充実については、現在、小規模の獣医学教育課程を再編統合し、国際水準に見合った獣医学教育を目指すこととしており、大学の定員管理を無視する特区による大学の新設については反対する立場をとっている。

事務連絡

終了後、八木狂犬病予防委員長から平成27年度集合狂犬病予防注射実施に当たっての留意事項として、次のとおり説明がありました。

①必要書類の提出について速やかに対応すること。

②予防注射実施希望者(辞退者)は、2月13日までに希望等届と契約書を班長に提出すること。

なお、班長は2月20日までに支部長に、支部長は2月27日までに事務局に提出すること。

③ワクチンについては、冷暗所に

保管するとともに、実施状況を確認しながら逐次配布するなど、過不足の生じないようにすること。

④注射事故に際しては、丁寧に対応をすること。また、注射に当たっては、獣医師会の白衣を着用すること。



会場となったソニックシティ小ホール

閉会

小暮一雄副会長が閉会の辞を述べ、午後4時50分に閉会となりました。

公務員獣医師の処遇改善について要請

公務員獣医師の処遇改善について埼玉県庁に要請いたしました。

獣医師の教育課程が6年制に移行してから既に30年が経過し、現職の公務員獣医師の多くが医師・歯科医師と同様の教育課程を修めた免許取得者となったにもかかわらず、その処遇は従前と変わらない状況にあります。

このため、全国的に獣医師の人材が不足している状況の中、高度専門職としてふさわしい処遇に改善することが人材確保につながるとして、本年7月の全国都道府県議会議長会定例総会において、公務員獣医師の処遇改善等が盛り込まれた「平成27年度予算編成並びに施策に関する提言」が決定され国へ要望されたところですが、この機に日本獣医師会と地方獣医師会も連携して処遇改善運動を展開することとなり、埼玉県獣医師会においても、10月23日に開催した第3回理事会で「公務員獣医師の処遇改善に係る要請」を決定したところです。

このたび、この決定に基づき、11月20日付けで、埼玉県庁に勤務する獣医師の適用給料表の見直しや初任給調整手当の創設などの処遇改善措置を内容とする要請書を、埼玉県獣医師会高橋三男会長と日本獣医師会蔵内勇夫会長の連名により埼玉県知事及び人事委員会委員長あてに提出いたしました。

要請書は次のとおりです。

公務員獣医師の処遇改善について(要請)

家庭動物は、我々の生活を様々なかたちで豊かにしてくれるかけがえのない存在であり、人の命が大切であるように動物の命に対しても感謝と畏敬の念を忘れず、その尊厳を守らなければなりません。このような動物愛護の精神が、多くの先人の長年の努力にもかかわらず、未だ国民共通の理解として定着するまでには至っていない中、動物愛護管理法の一部を改正する法律が平成25年9月1日に施行されました。動物をさらに大切に扱うために、人と動物の共生社会の実現を図り、所有者の終生飼養の責務等が明記され、動物取扱業者に係る規制強化などが行われたものです。都道府県等の役割はさらに拡大し、このため、改正法の的確な実施業務を担う獣医師の職責はますます重くなり、業務量が増大することも確実です。

また今日のグローバル社会において、高病原性鳥インフルエンザや狂犬病をはじめとする人と動物の共通感染症や口蹄疫などの伝染病が世界各地で発生し、我が国においても再び流行する危険があり、その流行制御や食品の安全性確保を求める国民の声が一段と高まりを見せています。そこで、このような国民の期待に応えるべく、平成25年11月20日に日本医師会と日本獣医師会により、人と動物、さらに環境の健康は深くひとつに繋がっており、連携・協働してその一体的増進に取り組むとする包括協定が締結されたところです。家畜衛生及び公衆衛生等の現場において、まさに水際の家畜衛生防疫措置や食品衛生の中核を担う公務員獣医師の業務も、ますます高い専門知識と技術、さらには判断力が要求され、困難性を増し

ています。

しかし、現在、これらの業務に従事する地方公務員獣医師には、医師の下でその処方や指示により医療に従事する職種と同じ医療職給料表(二)が適用されています。かつての国の指導に基づく措置と思われますが、その当時とは、上記のとおり公務員獣医師の職務内容や勤務環境は大きく変わりました。また、現職の公務員獣医師の全てが医師・歯科医師と同様6年間の教育課程を修めた免許取得者となろうとしています。現在の公務員獣医師の処遇は、医師等と同様、高度な自己判断に基づき困難な業務を遂行しなければならない高度専門職としてふさわしいものとは到底言えず、このことが、全国的に公務員獣医師が採用困難職種となっている最大の要因と言わざるを得ません。

このような状況をふまえて、全国都道府県議会議長会が本年7月30日に決議された「平成27年政府予算編成並びに施策に関する提言」において、現下の公務員獣医師にふさわしい処遇とするため必要な措置を講じるよう国に求めていただき、さらに、多数の県議会からも、本要請と同趣旨の意見書を関係機関に提出していただきました。

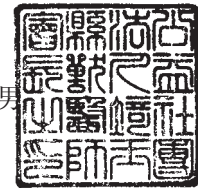
よって、知事及び人事委員会におかれては、公務員獣医師を取り巻く状況の変化と地方自治の趣旨に鑑み、貴団体に勤務する公務員獣医師がより一層責任と誇りを持って職務に専念できるよう、英断をもって、適用給料表の見直しや初任給調整手当の創設などの処遇改善措置を講じられるよう強く要請します。

平成26年11月20日

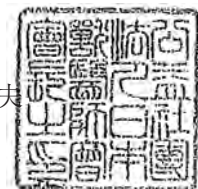
埼玉県知事 上田清司 様

埼玉県人事委員会委員長 馬橋隆紀 様

(公社)埼玉県獣医師会会長 高橋 三男



(公社)日本獣医師会会長 藏内 勇夫



26日獣発第244号
平成26年12月4日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏 内 勇 夫
(公印及び契印の押印は省略)

動物用医薬品等の範囲に関する基準について

このことについて、平成26年11月25日付け26消安第4121号をもって、農林水産省消費・安全局長から別添のとおり通知がありました。貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

このたびの通知は、近年、多種多様なペット用のシャンプー、皮膚用クリーム等が販売されていることから、動物に外用的に使用される物について、動物用医薬品等として薬事法(昭和35年法律第145号)の適用を受けるべき物であるかの判断を行う必要が生じており、また、現行の動物用医薬品等の範囲に関する基準について(平成20年4月11日付け19消安第14721号農林水産省消費・安全局長通知。以下「局長通知」という。)も専ら動物に使用する物の含有成分や効能効果に係る基準の解釈について、一層の明確化が求められていることから、専ら動物に使用される物が薬事法の一部を改正する法律(平成25年法律第84号)による改正後の医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和35年法律第145号)に基づく動物用医薬品等に該当するか否かの判断を行うため、今般、改めて「動物用医薬品等の範囲に関する基準」をまとめたので、了知の上、本会関係者への周知の依頼とともに、本通知の発出に伴い、局長通知が廃止された旨連絡されたものです。

※詳細(別添含む)については、日本獣医師会ホームページ(新着情報)をご覧ください。

26日獣発第241号
平成26年12月4日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏 内 勇 夫
(公印及び契印の押印は省略)

獣医師による未承認再生医療等製品の対象動物 への使用に当たっての注意事項について

このことについて、平成26年11月25日付け26消安第4177号をもって、農林水産省消費・安全局畜産安全管理課長から別添のとおり通知がありました。貴会関係者に周知方よろしく

お願いいたします。

このたびの通知は、獣医師は、承認を受けていない再生医療等製品について、専門知識による管理が可能である場合として、医薬品と同様、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく医薬品及び再生医療等製品の使用の禁止に関する規定の適用を受けない場合を定める省令(平成15年農林水産省令第70号)において、その診療に係る対象動物の疾病の治療又は予防の目的で使用する場合は、使用の禁止措置の適用対象外としていることを踏まえ、その使用により人の健康を損なうおそれのある畜水産物が生産される事態を未然に防ぐため、獣医師の使用に当たっての注意事項を整理したことについて、都道府県動物薬事主務部長宛て通知した旨、了知の上、関係者へ周知徹底されるよう依頼されたものです。

※詳細（別添含む）については、日本獣医師会ホームページ（新着情報）をご覧ください。

会 務 報 告

第 3 回 狂犬病予防委員会

平成26年11月19日(水)11時から、さいたま市「大宮ソニックシティ」において次の事項を協議した。

1 会長挨拶

今年の集合狂犬病予防注射実施者講習会については、会員の要望等を踏まえ、慌ただしい12月を避けて、会員が参加しやすいように配慮した。

講師を予定していた日本獣医師会の北村顧問と酒井副会長は、所用のために出席できず、急遽、矢ヶ崎専務理事に変更となったので、了承願いたい。

本日は、委員各位には長時間にわたり、講習会運営に当たっていただくこととなるが、よろしく願いたい。

2 協議事項

(1)平成26年度集合狂犬病予防注射実施者講習会の開催について

本日午後から開催される講習会の進行計画、役割分担や手順について再確認した。

(2)平成27年度集合狂犬病予防注射実施に向けた今後のスケジュールについて

実施希望(辞退)届及び実施契約書の配布及び提出期限等、今後の事務手続きやスケジュールについて次のとおり決定した。

- ① 配布 本日の講習会にて各委員、班長から配布
- ② 班長への提出期限 2月13日(金)
- ③ 班長から支部長への提出期限 2月20日(金)
- ④ 支部長から事務局への提出期限 2月27日(金)

—— テレビ埼玉で放映 ——

高橋会長「彩の国」新春年頭挨拶

とき…平成27年1月2日(金)

午前11時55分～12時00分

テレビ埼玉



予 告

さいたま市支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2 (1) 小3 (3))

さいたま市支部長 新井 宣明

さいたま市支部では2月1日(日)に米国獣医病理学専門医であり、どうぶつの総合病院病理科の近藤広孝先生をお招きして学術講習会を開催致します。2014年6月22日に開催された南第一支部でのご講演に引き続いた各論として、第1部 犬・猫の眼瞼・眼球腫瘍の病理～基礎から最新知見まで～

第2部 猫のパピローマウイルス関連皮膚腫瘍～乳頭腫だけじゃない！？～

と題しご講義いただきます。

講演に先立ち、近藤先生から次のようなコメントを頂いています。

〈臨床でも病理でも、「メラノーマ」という用語が混乱を招いており、正確にはメラノーマは悪性、メラノサイトーマが良性を指すにも関わらず、入り乱れているのが実情です。

眼球腫瘍はこのあたりを説明するのに都合の良い器官ですので、そのあたりも交えてお話しできればと思います。

後半では、数年前に海外で話題になったパピローマウイルスが関連した猫の皮膚腫瘍をお話ししたいと思います。

一般的にはパピローマ(乳頭腫)のイメージがありますが、猫では扁平上皮癌に関連している事も明らかになりました。

その臨床的推移や発生機序などをお話しできればと思います。〉

多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日 時 平成27年2月1日(日) 13:30～17:00
場 所 With You さいたま (ホテルブリランテ武蔵野 4 階)

視聴覚セミナー室
さいたま市中央区新都心2-2
電話 048-601-3111

演 題 第1部 犬・猫の眼瞼・眼球腫瘍の病理
～基礎から最新知見まで～
第2部 猫のパピローマウイルス関連皮膚腫瘍
～乳頭腫だけじゃない！？～

講 師 どうぶつの総合病院病理科 近藤広孝先生

参加費 埼玉県獣医師会員 無料
会員以外の受講者 5,000円



西支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2 (2))

西支部長 三森 信行

西支部では平成27年3月8日(日)に本年度西支部学術講習会の締めくくりとして、小動物麻酔鎮静サポート代表 長濱正太郎先生をお招きして「バランス麻酔と周術期管理」の講習を行います。

年度末のお忙しいところと思われますが、多数の先生方のご参加をお待ちいたします。

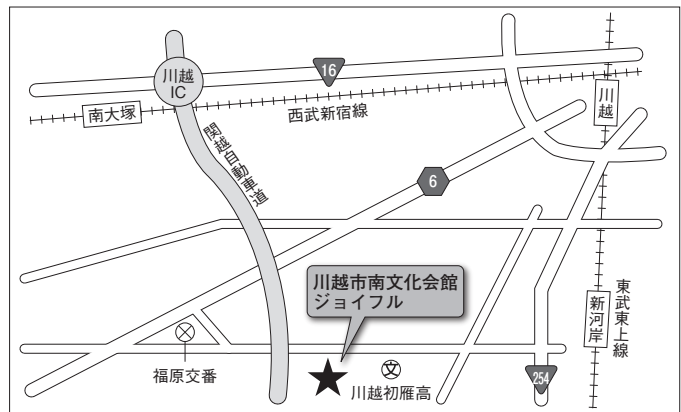
日 時 平成27年3月8日(日)
13:30～16:30 (13:00受付)

場 所 川越市南文化会館 ジョイフル
川越市大字今福1295-2
TEL: 049-248-4115

演 題 バランス麻酔と周術期管理

講 師 小動物麻酔鎮痛サポート
長濱正太郎 先生

参加費 埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円



広告

動物病院・ペットショップなどのペット環境および施設の衛生管理にー ペットクリーンナビ

PET CLEAN NAVI

M MORIKUBO



消臭・除菌
ウイルス除去

二酸化塩素水

安心のペット環境づくりに。
同梱のタブレットを溶解してご使用ください。

電解アルカリイオン水

洗浄・除菌

ペットと環境に優しいのに驚きの洗浄力！
二度拭きいらずの洗浄・除菌水。



スプレー各1本入り
のお得なセット



【容 量】 各 100 mL

M 森久保薬品株式会社 神奈川県厚木市栄町 1-8-17
TEL: 046-222-2333(代)

東京: 042-564-2381 埼玉: 04-2968-0881 三郷: 048-948-2112 神奈川: 046-221-0620 ツクバ: 0296-43-1661

山梨: 055-224-5278 群馬: 027-230-3322 栃木: 028-666-3399 茨城: 029-241-3131 成田: 0476-40-5811 茂原: 0475-24-1613

新入会員の抱負 埼玉県獣医師会に入会して

農林支部 畠中 優唯
(中央家畜保健衛生所)



BSE検査の様子

昨年(平成25年)4月、埼玉県獣医師会に入会させていただきました、畠中優唯(はたなか ゆい)と申します。

私は、平成25年に酪農学園大学を卒業後、埼玉県庁に入庁し、農林部の中央家畜保健衛生所に配属されました。県内には家畜保健衛生所が3か所あり、そのうち県南および東部を管轄しているのが中央家保です。現在は病性鑑定担当Gに所属し、主に生化学検査を担当していますが、家畜についても、専門的な内容についても、知識の壁にぶつかることが多く、日々勉強の連続です。

出身地である埼玉県で、産業動物に関わる仕事がしたいと考え、この仕事を選び、毎日やりがいを感じながら

過ごしています。埼玉県に限らず畜産農家数は減少の一途をたどっていますが、このような現状の中でも、私の業務が畜産農家の経営の一助となればと思っております。

最後に、まだまだ未熟者ですが、畜産振興に貢献できるよう精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

南第一支部・南第二支部合同学術講習会開催報告

南第一支部長 田中 裕
南第二支部長 長澤 泰保

12月7日(日)埼玉会館において、南第一支部、南第二支部の合同学術講習会を開催いたしました。

今回は日本獣医生命科学大学教授 藤田道朗先生をお招きし、「動画から学ぶ！犬および猫の上部気道疾患について」と題して呼吸器疾患のご講義をいただきました。

ミニチュアダックスの慢性鼻炎、鼻咽頭狭窄、短頭種気道症候群、咽頭麻痺の四疾患について動画を交えながら非常に判りやすくレクチャーいただきました。

どの疾患も日常の診療で遭遇することもありますので、動画で症状を確認しながら、診断方法、治療方法を学ぶことができ、大変勉強になりました。

今回もお忙しい中、多数の先生方にご参加いただきましてありがとうございました。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南第一支部	南第二支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
60名	7名	14名	12名	4名	0名	13名	9名	1名

FAVA (アジア獣医師会連合) 第18回学術大会 (シンガポール) に参加して

埼玉県食肉衛生検査センター 齊藤守弘 (衛生支部)

FAVA の参加国は、日本、オーストラリア、韓国、シンガポールを含む9カ国で、輪番制により学術大会を毎年開催していますが、本年度は、シンガポールがホスト国となり、平成26年11月28日から30日までの3日間、マリナベイサンズ、コンベンショナルホールに於いて開催されました。

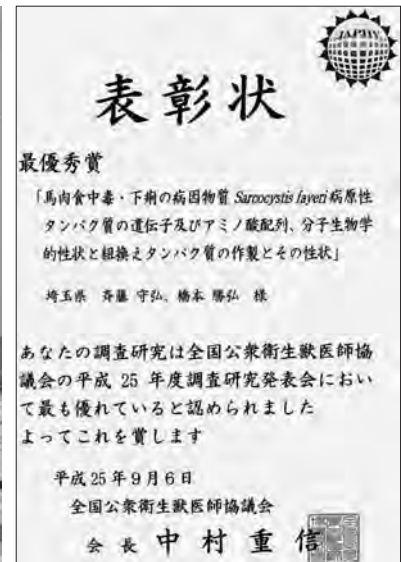
学会は、①動物福祉、②伴侶動物医学、③馬医学、④実験動物医学、⑤家禽医学および生産、⑥豚医学および生産、⑦水産動物と魚病学、⑧災害時の管理(獣医学の視点で)、⑨獣医病理、⑩獣医教育-学部生および卒業後教育、⑪その他医学のトピックスに分かれており、口頭及びポスターセッションに分かれ発表が行われました。私は、区分⑪のその他医学のトピックスでポスターセッションにエントリーし、「馬肉食中毒・下痢の病因物 *Sarcocystis fayeri* 病原性タンパク質の遺伝子及びアミノ酸配列、分子生物学的性状と組換えタンパク質の作製とその性状」の演題で発表を行いました。ポスターセッションは9カ国から計75題、わが国からは、岐阜大学他5題のエントリーがありました。

私がFAVAに参加したのは、平成25年9月6日(金)、明治記念館に於いて開催された全国公衆衛生獣医師協議会調査研究発表会において、上記発表演題が最優秀賞を受賞したことで同大会に推薦されたことによります。

最優秀賞の演題と抄録およびFAVA大会のアブストラクトは下記の内容です。



ポスターセッションの前で



全国公衆衛生獣医師協議会から最優秀賞を受賞

馬肉食中毒・下痢の病因物質 *Sarcocystis fayeri* 病原性タンパク質の遺伝子及びアミノ酸配列、分子生物学的性状と組換えタンパク質の作製とその性状

埼玉県食肉衛生検査センター ○齊藤 守弘 橋本 勝弘

はじめに

演者らは、馬肉中に寄生した住肉胞子虫・*Sarcocystis fayeri* ブラディゾイト膜成分である15kDaタンパク質が食中毒症状である下痢に関与し、そのメカニズムについて報告した。今回は、病原性15kDaタンパク質の遺伝子及びアミノ酸配列を解析し、その分子生物学的性状を明らかにし、さらに組換え蛋白質を精製し、その病原性について検討したので報告する。

材料及び方法

1 遺伝子及びアミノ酸配列の解析

15kDa タンパク質の遺伝子及びアミノ酸配列を解明するため、生鮮 *S.fayeri* シストを演者らが考案した直接法をもちいて採取した。採取したシストを -22℃ で凍結、37℃ で融解し、粗タンパク質を回収した。シストタンパク質を SDS ポリアクリルアミドゲル電気泳動を実施し、15kDa タンパク質を含むゲルを切り出し、トリプシンを加え、目的タンパク質のゲル内分解を行った。得られた消化産物ペプチドについて、逆相 HPLC によりペプチドを分離し、2 ヶ所のピークをフラクションにより回収した。回収したペプチドについてアミノ酸配列分析装置を用いてアミノ酸配列を解析した。得られたアミノ酸配列について BLAST をもちいてその配列や相同性を検索した。遺伝子の全長をクローニングするためシストから mRNA を抽出し、逆転写酵素を用いて cDNA を作製した。決定したアミノ酸配列を塩基コドンに置き換えて合成した degenerate primer を用いた PCR を実施し、目的の cDNA の部分クローニングを行った。ついで、mRNA の 5' 先端部及び 3' 末端方向への RACE 反応を行い遺伝子全長をクローニングした。得られた遺伝子全長について BLAST を用いてその配列や相同性を検索した。

2 組換えタンパク質の発現と精製

15kDa タンパク質の cDNA を組換えタンパク質発現用ベクター pHAT10 に挿入し、大腸菌 BL21 に遺伝導入(形質転換)を行った。同大腸菌を培養し、IPTG により遺伝子発現を誘導した。遺伝子誘導発現後、大腸菌を回収し、菌体を溶解後遠心分離し、TALON カラムを用いてタンパク質(FLAG 融合タンパク質)を回収した。回収した FLAG 融合タンパク質にタンパク分解酵素エンテロキナーゼを加えて組換えタンパク質と FLAGE(タグ)の結合を切断した。次に、ゲル濾過を行い、精製組換え 15kDa タンパク質を作製した。

3 組換えタンパク質の生化学的性状

15kDa タンパク質の遺伝子及びアミノ酸配列がアクチンの脱重合を誘発するタンパク質と相同性があることから、組換え蛋白質を用いてアクチン堆積分析を行った。ウサギアクチンを試験管内で 30 分間重合させ、ついで 0、2.5、5、10 μ M の組換え蛋白質をそれぞれ重合液に加え、室温で 60 分間反応させた。反応後、超遠心を行った。超遠心後、上清について SDS ポリアクリルアミドゲル電気泳動を実施し、単量体アクチン画分の蛍光強度の読み取りを実施した。

4 組換え蛋白質の腸管毒性試験

腸管毒性の有無を調べるため、組換え蛋白質 200 μ g、100 μ g 及び 50 μ g をそれぞれ、ウサギ腸管結紮ループ試験を実施した。

結 果

1 遺伝子及び塩基配列と計算上の分子量

逆相 HPLC によりペプチドを分離して得られた 2 ヶ所のピークは 10 及び 20 のアミノ酸が同定された。同タンパク質のアミノ酸配列を手がかりに、同タンパク質をコードする部分遺伝子をクローニングし、5' 及び 3' RACE 反応を行い、同遺伝子の全長をクローニングした結果、354 の塩基、118 のアミノ酸で構成され、計算上の分子量は 13,500 であった。

2 遺伝子配列の相同性

15kDa タンパク質の全長 cDNA について BLAST をもちいてその配列や相同性を検索した結果、同じ孢子虫類である *Toxoplasma gondii*、*Eimeria tenella*、*S. neurona* に、さらに細胞内アクチンフィラメントを脱重合させる活性があるタンパク質(アクチン阻害因子)と相同性が認められた。

3 組換えタンパク質のアクチン堆積分析結果

大腸菌を用いて作製した遺伝子組換えタンパク質がアクチンの脱重合を誘発するかについてアクチン堆積分析を実施した。ウサギアクチンタンパク質に組換え蛋白質を反応させ、超遠心を行った結果、上清中に単量体アクチンが検出された。組換えタンパク質 2.5 μ M で蛍光強度が 2,979 a.u.、5 μ M で 5,675 a.u.、10 μ M で 20,061 a.u. と濃度に比例して単量体アクチンの増加がみられた。

4 組換え蛋白質の腸管毒性試験結果

組換えタンパク質 200 μ g を接種したウサギ腸管結紮ループ内に液体貯留が観察され、同組換え

蛋白質の腸管毒性が証明された。

5 結論

S.fayeri 毒性タンパク質は、アクチン重合を阻害し、*Toxoplasma gondi*, *Eimeria tenella*, *S.neurona* に相同性があり、354の塩基と118のアミノ酸を有し、計算上の分子量は13,500であった。

考 察

演者らは、これまでに、馬肉の生食によって引き起こされる食中毒の病因物質は、住肉胞子虫・*Sarcocystis fayeri* の高濃度感染によることを発見した。同食中毒は生馬肉喫食後数時間で食中毒症状の一つ下痢を誘発することから、*S.fayeri* が腸管毒性を有するか、ウサギ腸管結紮ループ試験を実施し証明した。さらに、*S.fayeri* の毒の性状を解明するためゲル濾過により分析した結果15kDa タンパク質であり、同タンパク質はブラディゾイトの膜の構成タンパク質であることを免疫組織化学検査及び免疫電子顕微鏡検査で発見した。下痢のメカニズムを解明するため、ヒト以外の *S.fayeri* 15kDa タンパク質感受性動物であるウサギへの経口接種試験を実施した。その結果、腸管内に遊出した *S.fayeri* 15kDa タンパク質が腸管内に吸収され、腸管にアポトーシスを誘発し、その結果腸管上皮細胞が剥離脱落し下痢が起こることを解明した。

今後の問題として、本寄生虫の全貌を解明するためには、*S.fayeri* シストの安定供給が不可欠であるが、生馬肉からのシスト回収には非常な労力と研究対象動物、すなわち生馬肉が大量に必要となる。このことから今回、遺伝子組換えタンパク質の精製を目標として研究を行った。その結果、15kDa タンパク質の全長の遺伝子及びアミノ酸配列を解明し、その結果、遺伝子組換えタンパク質の精製に成功した。さらに、*S.fayeri* シスト内に有する腸管毒性が遺伝子組換えタンパク質にもウサギ腸管結紮ループ試験で証明された。

15kDa タンパク質の組換え蛋白質の成功に伴い、研究対象物の安定供給が可能となったことから、アポトーシスのメカニズム等の解明を今後進めていきたいと考えている。

Cloning and characterization of a gene encoding 15-KDa protein from *Sarcocystis fayeri* and experimental verification of enterotoxicity of the recombinant protein

Morihiro Saito and Katuhiro Hasimoto
Saitama Meat Inspection Center, Japan

Abstract

More than one hundred cases of foodborne disease, for which no causative bacteria and viruses were detected, have been reported in Japan. The cases were analyzed epidemiologically, and a suspicious horsemeat was examined to identify the presence of any new microorganisms and its toxic substances. The cause of the horsemeat poisoning studied that it was *Sarcocystis fayeri*. We report the cloning and characterization of a gene encoding 15-KDa protein from *Sarcocystis fayeri* and the enterotoxicity of the recombinant protein in rabbit ileal loop test. After the partial international amino acid sequence of the target toxin was determined, nested PCR using degenerate primers was carried out to isolate the cDNA of the toxin. The recombinant protein was expressed, and its enterotoxicity was determined by the rabbit ileal loop test. A 15-KDa protein isolated from the cysts induced enteropathogenic symptoms in rabbits. The cDNA of this 15-KDa protein contained an open reading frame of 354 bp encoding a protein of 118 amino acids, and possessing homology to actin-depolymerizing factor. The recombinant 15-KDa protein had the ability to depolymerize the polymerized actin, and elicited fluid accumulation in the rabbit loop test, showing enterotoxic activity

高病原性鳥インフルエンザ防疫演習の開催について

埼玉県農林部畜産安全課

○ 埼玉県は、高病原性鳥インフルエンザ(以下、「HPAI」という。)発生時の防疫対応を確認するため、平成26年11月12日(水)に深谷市内(花園文化会館アドニス、J A全農さいたま北部総合センター)において、机上演習と実地演習を実施しました。

○ 生産者や市町村担当者、獣医師、関係団体など、県内外から122名が参加しました。

○ 内容

1 机上演習(養鶏農家を対象)

- ・ HPAIの発生状況、臨床症状を説明。
- ・ 発生時の初動防疫作業について特に詳しく説明。

2 実地演習(防疫作業従事者を対象)

- ・ 参加者(59名)は、防疫服を着用し、バスに乗り込み、養鶏場を再現した会場に移動。
- ・ ケージから生きた鶏を取り出して密閉容器に入れ、炭酸ガスを注入する、と殺処分作業の模擬体験。
- ・ 農林水産省が所有するシャワー室を完備した『除染テント』を使用し、汚染区域と清浄区域のバイオセキュリティの確保を体験。



机上演習



鶏のケージからの取出



と殺処分



移動可能除染テント

HPAI の発生状況について

- ・ 近隣のアジア諸国(韓国、中国など)では、HPAIの発生が継続しており、我が国への侵入のリスクが高まっています。
- ・ 我が国においては、本年4月に熊本県の肉用鶏飼育農場でHPAIが発生(7月17日に清浄国に復帰)。
- ・ 環境省の実施する野鳥等の検査では、11月以降、島根県、鳥取県、千葉県、鹿児島県でHPAIウイルス(H5N8亜型)が確認(12月12日現在)されており、県内での発生も危惧されています。

会員各位におかれましては、検案した鶏など(家きん)にHPAIを疑う異常を確認したら、すぐに最寄りの家畜保健衛生所に連絡をお願いいたします。

第128回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペ結果報告

埼玉県獣医師会ゴルフ同好会会長
幹事

齊藤 和也
道野 英司
小島 満

初冬の冷え込みが増す、12月4日(木)、太平洋クラブ&アソシエイツ江南コース(熊谷市)において第128回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペが24名の参加者で開催されました。

天気予報は下り坂とのことでしたが、曇り、微風のこの時期としてはまずまずのコンディションの中で、来年5月の日本プロゴルフ選手権が開催される難コースに挑戦しました。

終了後には、持ち寄った品々で恒例のオークションを行い、売り上げの多くが会の運営費に寄付されました。



会場だった江南ゴルフコースの眺望

成績は以下のとおり大野秀樹先生が優勝されました(同スコアのため、ハンディキャップの少ない者が上位)。



左から 2位 中村久江先生(団体支部)、優勝 大野秀樹先生(北支部)、
3位 小堀正人先生(さいたま市支部)

優 勝

大野 秀樹 先生(北支部)
NET 68 (4 アンダー)

準優勝

中村 久江 先生(団体支部)
NET 68 (4 アンダー)

第3位

小堀 正人 先生(さいたま市支部)
NET 73 (1 オーバー)

ベスグロ

小堀 正人 先生(さいたま市支部)
80 ストローク



懇親会・表彰式

次回は来年3月19日(木)、こだまゴルフクラブ(本庄市)にて開催する予定です。和気あいあいの会ですので、会員の皆様のご参加をお待ちしております。

お知らせ

26日獣発第223号

平成26年12月12日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

会長 藏 内 勇 夫

(公印及び契印の押印は省略)

「家庭飼育動物(犬・猫)診療料金の実態調査」の実施について(協力依頼)

このことについて、日本獣医師会では、小動物診療料金についての客観的な情報を提供することにより、小動物診療の透明性を高め、小動物獣医療の適正化を図ることを目的に診療料金の実態調査を実施しており、第1回調査を平成6年に、第2回調査を平成10年に実施いたしました。

以後、調査を実施しておりませんでしたが、診療の多様化・高度化が進む中、あらためて現状を正しく把握することが求められているところです。

このため本会では、平成25年度から小動物臨床部会常設委員会である小動物臨床委員会(委員長：細井戸大成日本獣医師会理事)に小動物診療実態調査ワーキンググループ(座長：佐伯潤大阪府獣医師会理事)を設置して準備を進め、このたび15年ぶりとなる第3回目の調査を別添のとおり実施することといたしました。

つきましては、貴会会員の小動物診療施設開設者の皆様に予め周知の上、調査協力のご依頼をいただきますようお願いいたします。

調査は全国のすべての小動物診療施設開設者を対象に、下記「調査概要」のとおり、インターネットによるWEB回答方式と郵送によるアンケート方式の併用により実施いたします。手軽に入力いただけるインターネットによる回答をお勧めいたしますが、日本獣医師会雑誌第67巻12号に同封のアンケート回答用紙に記入し、回答いただくことも可能です。

貴職におかれましては、本調査の趣旨をご理解いただき、できるだけすべての対象者に回答いただきますようご高配の程よろしくお願い申し上げます。

なお、調査結果につきましては、平成27年春を目途に公表させていただく予定です。

記

〔調査概要〕

- 1 調査期間：平成26年12月22日(月)～平成27年1月21日(水)
- 2 調査方法：無記名によるWEB調査(質問紙によるアンケート調査との併用)
- 3 対 象：日本国内のすべての小動物診療施設の開設者
- 4 設問及び回答URL：<https://www.net-research.jp/airs/exec/rsAction.do?rid=658930&k=f4667d0e2f>
(日本獣医師会ホームページからも簡単にアクセスできます。)
- 5 委託先調査機関：株式会社マクロミル

※詳細(別添含む)については、日本獣医師会ホームページ(トピックス)をご覧ください。

埼玉県獣医師会開業会員の確定申告個別相談会開催のお知らせ

埼玉県獣医師会では、開業の先生方を対象に下記のとおり顧問税理士による個別相談会を開催いたします。
ご希望の先生は事務局までご連絡ください。

記

日 時 平成27年2月3日(火)

① 午後1時～ ② 午後2時～ ③ 午後3時～ ④ 午後4時～

※個別相談となるため、希望者はあらかじめ埼玉県獣医師会事務局までご希望の時間を連絡してください。

なお、希望時間が重複する場合には調整させていただきます。

また、希望者多数の場合は、別の日時での開催を検討いたします。

場 所 さいたま市 埼玉県農業共済会館 2階 206会議室

対 象 者 開業支部会員（税理士の関与がない先生を優先）

相談内容 獣医業に関する個人の確定申告（平成26年分）

対 応 者 埼玉県獣医師会 顧問税理士 間嶋順一 先生

事前準備 相談に必要な資料等事前準備をしていただく必要がありますので個別相談を希望する先生には、後日ご連絡いたします。

埼玉県獣医師会ボウリング大会開催のお知らせ

厚生委員会委員長 大橋 邦啓

会員及びその関係者相互の親睦と健康の増進を目的にボウリング同好会の協力を得て埼玉県獣医師会主催「ボウリング大会」を次のとおり開催いたします。

多くの皆様に参加いただき、会員やご家族、関係者の皆様との親睦を深め、楽しい時を過ごしてください。

1 日 時 平成27年2月8日(日)

集 合 午後3時30分

競技開始 午後4時

2 場 所 スポーツ浦和国際ボウル

さいたま市桜区中島4-1-1

電話 048-853-4921

3 参 加 費 1,500円(貸靴料：別途、自己負担)

4 参加要件 会員とその家族及び従業員、賛助会員など

5 予定人員 60名(20レーン×3名=60名)

6 競技方法 一人2ゲームを投球し合計点で競います。年齢や性別等を考慮し、ハンディキャップを設定します。

7 表 彰 式 競技終了後、ボウリング場内にて行います。

8 参加申込 参加希望者は、平成27年1月20日(火)までに氏名・年齢・性別を各支部の厚生委員に伝え、お申し込みください。

厚生委員は、1月27日(火)までに参加者を取りまとめの上、埼玉県獣医師会事務局に報告してください。



第11回日本獣医内科学アカデミー学術大会 参加者に対する助成金交付について

本会では会員の獣医学術の研鑽向上に向け、平成26年度予算に於いて標記学術大会参加の開業支部会員を対象に「参加登録費」の一部助成金交付を措置しております。

つきましては、助成金交付を希望される先生は下記により事務手続きをお願いします。

- (1) 開催月日 平成27年 2月20日(金)～22日(日)
 (2) 会 場 「パシフィコ横浜」 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1
 (3) 主 催 日本獣医内科学アカデミー(JCVIM)

(4) 参加登録費(抄録込)	事前登録	当日登録
主催及び共催団体の会員	20,000円	28,000円
非会員	23,000円	31,000円
1日参加者(会員・非会員とも)	13,000円	18,000円

(注) 埼玉県獣医師会の会員については、開業、勤務を問わず、「共催団体の会員」として登録費が軽減されますので、参加登録に当たってはご注意ください。

- (5) 事前参加登録締切 平成27年 1月20日(火)
 2 助成金額 1人当たり 5,000円 (開業支部会員に限る。)
 3 助成金交付事務手続き

「参加登録費」の支払いを証する書面(下記の何れか)の写しを埼玉県獣医師会事務局まで提出してください。

・「振替払込請求書兼受領証」 ・「登録費領収書」 ・「参加確認証(E-mail)」

提出期限 平成27年 3月9日(月)まで(必着)

※ 本学術大会の詳細な内容等については、「日本獣医内科学アカデミー学術大会」ホームページをご覧ください。

平成26年度「管理獣医師の実践的な技術・ 知識を習得するための講習会」開催のお知らせ

獣医療提供体制整備推進協議会(事務局 日本獣医師会)による標記講習会が、下記のとおり開催されますのでお知らせします。

日 時 平成27年 1月22日(木)

13:00～17:00

場 所 ホテル「プラザ菜の花」 4階「檣の間」

千葉県千葉市中央区長洲 1-8-1 電話: 048-222-8271

講習内容

- (1) 農場管理獣医師に必要な知識・技能の概要について
 農場管理獣医師協会事務局次長 大橋邦啓先生(埼玉県獣医師会理事)
 (2) 農場 HACCP 認証制度の現状と今後の展開について
 農場 HACCP 認証協議会会長 酒井健夫先生(日本獣医師会副会長)
 (3) 農場管理獣医師は語る ～その現実と課題～
 鶏病研究会理事 坂井利夫先生(坂井利夫家禽・家畜診療所長)
 (4) 農場管理獣医師の現状と将来展望について
 農場管理獣医師協会会長 北村直人先生(日本獣医師会顧問)

参 加 料 無料(但し、交流会にも参加される方は3,000円)

開催主体 公益社団法人日本獣医師会

開催担当 公益社団法人千葉県獣医師会

参加を希望される先生は、1月15日(木)までに埼玉県獣医師会事務局へご連絡ください。

電 話 048-645-1906 F A X 048-648-1865 メール s-uma@vesta.ocn.ne.jp



切り抜きニュース

鳥インフル厳戒 鶏舎の点検・消毒徹底

今年すでに 4 件

渡り鳥から強毒性の高病原性鳥インフルエンザウイルスが相次いで検出されている。過去 3 シーズン(10月～翌年 5 月)はゼロだったが、今シーズンは11月以降すでに 4 件。渡り鳥の経由地があるアジアでは、養鶏場などで大流行しており、国内の養鶏業者らは感染を防ぐため、鶏舎の点検や消毒に追われている。

■ピリピリ

「渡り鳥が飛んでくるのは防ぎようがない。ウイルスを持った鳥が鶏舎に入ってこないか心配」。埼玉県内の養鶏場の女性従業員(35)は不安そうに語った。

約7000羽を飼育する鶏舎は、野鳥の侵入を防ぐためネットで覆っている。ネットはこまめに点検し、破れた箇所を見つけたらすぐに直している。ウイルスを持ち込まないよう、鶏舎は関係者以外の立ち入りを禁じ、従業員の長靴の消毒も欠かさないという。

東京都のオリジナル品種「東京うこっけい」を育て、都内の養鶏業者らにヒナを販売する「東京都農林水産振興財団」の青梅畜産センター(青梅市)でも、鶏舎には原則、職員以外を近づけない。職員も鶏舎に入る際には専用の作業服に着替えるといい、担当者は「センターで感染が起きたら、東京うこっけいが消滅してしまう」と気を引き締める。

■大流行時と酷似

今シーズン、渡り鳥で初めて高病原性の鳥インフルエンザが確認されたのは鳥根県安来市。11月13日、コハクチョウのふんから H 5 N 8 型のウイルスが出た。

その後、千葉県長柄町、鳥取市と続き、同29日

には、国内最大のツルの越冬地、鹿児島県出水市で衰弱したマナヅルから検出された。

日本で最後に渡り鳥から高病原性のウイルスが検出されたのは2011年 5 月。このシーズンは感染が60件に上った。養鶏場にも感染が広がり、宮崎や愛知、千葉など 9 県で約185万羽が殺処分された。

今年 4 月には、渡り鳥が原因かどうかは不明なもの、熊本県の養鶏場で感染が確認され、約10万羽が殺処分された。環境省の担当者は「晩秋からウイルスの検出が相次いでおり、大流行した 4 年前と状況が似ている」と心配する。

■アジアで流行

不安に拍車をかけているのが、日本に飛来する渡り鳥の繁殖地や経由地となるアジア諸国での流行だ。

農林水産省によると、韓国では、昨シーズンからはほぼ通年で流行が続き、今年 1 月以降、鶏やアヒルなど飼い鳥への感染は過去最大規模の245件に上り、少なくとも1400万羽が殺処分された。中国でも 9 月以降、高病原性のウイルスが約50件検出されている。

ウイルス検出が相次いでいることを受け、環境省は11月21日、国内での警戒レベルを「2」から最高の「3」に引き上げ、ウイルス検査の頻度を増やして監視を強化している。農水省は、感染防止の徹底を求める通知文書を都道府県に出した。文書では「どこの養鶏場で鳥インフルエンザが発生してもおかしくない状況。最大限の警戒が必要だ」と強い表現で注意を促した。

環境省の担当者は「人がウイルスの運び役にな

高病原性鳥インフルエンザウイルス

H 5 型や H 7 型など鶏に対する毒性が強いウイルス。冬季に人で流行するインフルエンザとはウイルスの型が異なるが、感染した鳥を解体したり、粉末状のフンを大量に吸い込んだりして人が感染した例が、中国などでまれに報告されている。鶏肉や卵は70度以上で十分に加熱すれば問題ない。

らないよう、野鳥の死骸を触らないなど市民も気を付けてほしい」と訴えている。



読売新聞 12月5日(金)

養鶏4000羽殺処分 宮崎で鳥インフル

宮崎県は16日、簡易検査で鳥インフルエンザの陽性反応が出た延岡市北川町川内名の養鶏農場の鶏3羽を遺伝子検査した結果、H5型の高病原性鳥インフルエンザウイルスの遺伝子が確認されたと発表した。県はこの農場が飼育する約4千羽全てを殺処分するなど防疫措置を終えた。確定検査の結果は数日中に判明する見通しで、高病原性感染が確定すれば、家禽(かきん)では今冬で国内初めて。

農林水産省の専門家チーム4人は同日、現地に入り、感染源などの調査を始めた。

安倍晋三首相は関係省庁に迅速な防疫措置を指示。官邸内に情報連絡室を設置した。小泉昭男農林水産副大臣は宮崎県庁で河野俊嗣知事と会談し



「連携してウイルスを封じ込める。何でも要望してほしい」と述べた。

県は発生農場から半径3^{キロメートル}圏内の農場1戸で鶏約8300羽の移動を制限し、鶏の口内などから採取した検体をウイルス検査した。3～10^{キロメートル}圏内の農場1戸では鶏約6500羽の搬出を制限し、立ち入り検査して鶏の健康状態や防疫措置の確認を進めている。国道や県道8カ所に消毒ポイントも設置した。

大分県は10^{キロメートル}内に含まれる農場1戸(4800羽飼養)を搬出制限とし、この農場を含む県内の全養鶏農家に聞き取りなどの調査をしたが、異常は見つかっていない。

防疫措置が終わったことを受け、宮崎県は約10日後に養鶏場を再度検査。問題がなければ15日目に半径10^{キロメートル}圏内の搬出制限を解除し、21日目以降に半径3^{キロメートル}圏内の移動制限も解除する。

県によると、発生農場の鶏舎は縦約13メートル、横約64メートルで、壁がない開放型。家畜保健衛生所の8月の巡回検査では防疫措置に問題はなかった。15日に16羽が死んだとの通報を受け、簡易検査でうち3羽から陽性反応が出ていた。

農水省の畜産統計(2月1日現在)によると、宮崎県はブロイラー飼養数が全国1位の約281万8千羽で、全国の約20%を占める。県職員ら＝16日午前、宮崎県延岡市



鳥インフルエンザが確認された養鶏農場で、殺処分された鶏を袋に移す。県職員ら＝16日午前、宮崎県延岡市

埼玉新聞 12月17日(水)

小型犬の大量遺棄…ペット業界が抱える問題

栃木県で犬の死体が大量に見つかった事件。元

ペットショップ従業員の男らが逮捕されたが、背景に飼育がずさんな悪質ペット業者の存在など、構造的な問題を指摘する声も出ている。

各地で次々発覚何度も出産の痕

10月末から11月初めにかけ、宇都宮市の鬼怒川河川敷で45匹、那珂川町の山林で27匹の犬の死体が見つかった。県警は県内の30代と20代の2人が愛知県のブリーダーから処分を任されたとみて廃棄物処理法違反などの容疑で調べている。

見つかったのはいずれも小型犬の成犬で、雌の多くは何度も出産を経験した痕があった。劣悪な環境で業者に育てられた可能性が高いという。

栃木県の事件をきっかけに、全国的に犬の遺棄が相次いでいることが明らかになった。佐賀県では10月中旬から11月上旬、マルチーズ18匹が生きたまま見つかった。群馬県高崎市でも4月に3匹、8月に8匹が捨てられていた。

「最期まで飼育負担が大きい」

日本動物福祉協会栃木支部の川崎亜希子支部長は「販売の構造を変えないと、同じような問題は繰り返される」と懸念を示す。今はトイプードルやチワワ、ミニチュアダックスフントなどが人気で、それらが大量に供給される裏で、売れ残った犬や産んだ親犬を処分しなければならない事態になっているという。

川崎さんによると、優良なブリーダーの場合、子犬を産ませるのは3歳程度まで。残る寿命は約10年。栃木県内で100匹以上の犬を扱うブリーダーの男性は「売れ残った犬の面倒を最期までみるのは大きな負担だ。うちではえさ代だけで月10万円超。経済的に難しい人もいるだろう」。

環境省によると、保健所などへの持ち込みで殺処分される犬は2012年度で約3万8千匹。昨年9月に動物愛護法が改正され、自治体が業者からの動物引き取りを拒めるようになった。同省は「売れ残った犬を安易に保健所に持ち込む業者が一部にあり、一度飼ったら死ぬまで面倒をみるよう徹

底させる趣旨だ」。ただ、悪質業者による処分が殺処分から遺棄に変わっただけとの指摘もある。同省は「都道府県の立ち入り調査などで、ずさんな飼育をしている業者を把握するしかない」という。

だがペットショップやブリーダーなどの登録業者数は全国で2万2千。栃木県内だけでも約400ある。県内で立ち入り調査を担う職員は40人にも満たない。

専門の通報窓口開設した県警も

欧米には、繁殖業者の調査を動物専門の取り締まり機関が調べる仕組みがある。アニマルポリスと呼ばれ、業者による動物の扱いに問題があると判断した場合は告発する。

国内でも兵庫県警が今年1月、動物に関する通報、相談を専門で受ける「アニマルポリス・ホットライン」を開設。動物虐待の取り締まりに力を入れる動きが出ている。

自身が暮らす京都市でアニマルポリス導入を求める署名活動をした女優の杉本彩さんは「先進国でこのようなシステムがないのは日本だけだと思う」とし、導入の必要性を強く訴える。

「今回の事件は今まで闇に葬られていたものが明るみに出ただけ。これを受けて国が動かないと、同じような問題はなくなるらない」



④栃木県那珂川町の遺棄現場付近で、保護されたコーギー＝県動物愛護指導センター提供⑤死体が見つかった現場には、花が手向けられていた＝11月1日、宇都宮市芦沼町の鬼怒川河川敷

(友田雄大、岩佐友)

朝日新聞 12月5日(金)

平成26年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成26年12月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
6月14日(土) ～15日(日)	第88回獣医麻酔外科学会／第100回日本獣医循環器学会／第55回日本獣医画像診断学会 2014春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
6月22日(日)		南第一支部・南第二支部 「獣医病理学をもっと身近に感じるために ～専門医の立場から～」 どうぶつの総合病院病理科 近藤広孝 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
8月24日(日)		さいたま市支部 「僧帽弁閉鎖不全症の外科適応と内科適応 ～循環器内科医の立場から～」 東京動物心臓病センター日本獣医循環器 学会認定医 岩永孝治 先生 (さいたま市 大宮法科大学院大学)	
8月24日(日)		東支部 「犬と猫の消化管疾患診断アプローチと 治療のコツ2014」 日本小動物医療センター消化器科 中島亘 先生 (久喜市 久喜総合文化会館)	
9月7日(日)	平成26年度 関東・東京合同地区獣医師大会 (山梨) 獣医学術関東・東京合同地区学会 (山梨県中巨摩郡昭和町 アビオ)		
9月21日(日)		東支部 「犬種別眼科疾患：柴犬・シーズー」 どうぶつ眼科Eye Vet 小林一郎 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
10月17日(金)	北支部・八日会、しゃくなげ会 埼玉県支部 「子牛の免疫について」 酪農学園大学 大塚浩通 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
10月19日(日)		西支部 「内分泌を極める 副腎」 東京大学 松木直章 先生 (川越市 川越南文化会館)	
10月26日(日)		北支部・八日会 「違いのわかる獣医師になろう!! 前肢の歩行異常を見きわめる」 日本大学生物資源科学部獣医学科 枝村一弥 先生 (本庄市 児玉文化会館セルディ)	
10月26日(日)		東支部 「膝蓋骨脱臼治療の合併症 橈骨・尺骨の骨折治療の合併症」 コーネル大学 (米国獣医外科専門医) 林慶 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
12月7日(日)		南第一支部・南第二支部 「動画から学ぶ! 犬および猫の上部呼吸器疾患について」 日本獣医生命科学大学 藤田道郎 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
12月14日(日)		北支部・八日会 「違いのわかる獣医師になろう!! 後肢の歩行異常を見きわめる」 日本大学生物資源科学部獣医学科 枝村一弥 先生 (本庄市 本庄商工会議所)	
12月21日(日)		西支部 「内分泌を極める 甲状腺」 東京大学 松木直章 先生 (川越市 川越南文化会館)	
12月25日(木)	農林支部 平成26年度埼玉県家畜保健 衛生業績発表会 (さいたま市 埼玉会館)		
平成27年 2月1日(日)		さいたま市支部 「犬・猫の眼瞼・眼球腫瘍の病理 ／猫のパピローマウイルス関連皮膚腫瘍」 どうぶつの総合病院病理科 近藤広孝 先生 (さいたま市 With You さいたま)	
2月13日(金) ～15日(日)	平成26年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (岡山) (岡山市 岡山コンベンションセンターほか)		
2月	農林支部 関東甲信越家保業績発表会		衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3月8日(日)		西支部 「バランス麻酔と周術期管理」 小動物麻酔鎮静サポート 長濱正太郎 先生 (川越市 川越南文化会館)	

事務局より

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vmc.org/>

ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

- | | | | |
|--------|--|-----------|--|
| 11月21日 | 日本獣医師会新規獣医師臨床研修会
(熊谷市 マロウドイン熊谷) | 1月26日 | 日本獣医内科学アカデミー関係学術懇
談会(さいたま市 大宮ラフォーレ清
水園) |
| 11月26日 | 日本獣医師会第16回総務委員会(東京
都港区 日本獣医師会) | 2月1日 | さいたま市支部学術講習会(さいたま
市 With Youさいたま) |
| 12月7日 | 南第一支部・南第二支部合同学術講習
会(さいたま市 埼玉会館) | 2月3日 | 埼玉県獣医師会開業会員の確定申告個
別相談会(さいたま市埼玉県農業共済
会館) |
| 12月11日 | 平成26年度新入会員研修会(さいたま
市 大宮ラフォーレ清水園) | 2月8日 | 埼玉県獣医師会ボウリング大会(さい
たま市 スポーツ浦和国際ボウル) |
| 12月12日 | 日本獣医師会第4回理事会(東京都港
区 日本獣医師会) | 2月13日～15日 | 平成26年度日本獣医師会獣医学術学会
年次大会(岡山)(岡山県岡山市 岡
山コンベンションセンターほか) |
| 12月14日 | 北支部・八日会合同学術研修会(本庄
市 本庄商工会議所) | 2月19日 | 平成26年度第3回関東・東京合同地区
獣医師会理事会(山梨県笛吹市 ホテ
ルやまなみ) |
| 12月16日 | テレビ埼玉「新春挨拶番組」収録(さ
いたま市 浦和ロイヤルパインズホテ
ル) | 2月20日～22日 | 第11回日本獣医内科学アカデミー学術
大会(神奈川県横浜市 パシフィコ横
浜) |
| 12月17日 | 第4回理事会(さいたま市 寿々家) | 3月8日 | 西支部学術講習会(川越市 川越南文
化会館) |
| 12月21日 | 西支部学術講習会(川越市 川越南文
化会館) | 6月11日 | (予定)埼玉県獣医師会第67回定時総
会(さいたま市 大宮ラフォーレ清水
園) |
| 12月25日 | 平成26年度埼玉県家畜保健衛生業績発
表会(さいたま市 埼玉会館) | | |
| 平成27年 | | | |
| 1月6日 | 豊かな埼玉をつくる県民の集い(さい
たま市 浦和ロイヤルパインズホテル) | | |
| 1月13日 | 知事と農林水産業団体長との懇談会
(さいたま市 知事公館) | | |
| 1月16日 | 日本獣医師会第17回総務委員会(東京
都港区 日本獣医師会) | | |

編集後記

慌ただしく駆け足で12月がやってきました。今年も日本列島は猛々しい自然の振る舞いに人々は恐れおののき、じっと耐えてこの年末を迎えました。振り返れば、50年ぶりの大雪、夏の猛暑、台風の大雨による風水害、竜巻、御岳山の噴火、糸魚川構造線上の地震など人間の知力の及ばないはるかに大きな力の前にただただ耐えることを促された日々でした。一方、激しい自然の合間には、うららかな春、集合注射の時にも桜を愛でる機会にも恵まれ、新緑の5月には新しい芽吹きに生命の躍動を感じ、実りの秋には米の豊作の知らせと新米の香りの有難さに日本人であることを感謝し、新酒を嗜みて歳功の成るを悦びました。平成26年において、自然はその御しがたいことを示し、人智の驕ることを戒めたともいえましょう。

1年の世相を表す「今年の漢字」が清水寺で発表され、『税』が選ばれました。年頭から消費税率引き上げに国民は動揺し、再引き上げの議論には、市民の思いとはかけ離れた政治を担う人々のパフォーマンスに何か白々としたものを感じました。国民の潜在意識は、高橋是清のような偉大な能力と実行力を兼ね備えた超人の出現を期待しているのかもしれませんが。敗戦後、我が国は戦勝国アメリカを目標に大量生産、大量消費による景気浮揚を心がけ、視点を変えれば資源の無駄遣いによる通貨の流通量と速度の加速をひたすらに求めてきました。その結果として、所得は倍増しモノはあふれ返りながらも、人々の欲求は満たされず、社会全体はむしろ欲求不満の不安定な状態が続いています。最近の社会現象に目を転ずれば、子供たちの情緒不安定、社会にお

けるモラルの低下に起因する目を覆うばかりの若者や大人たちの社会秩序の乱れなどが露わとなり、天が嘆く結果となっているようです。ブッダ(釈尊)に『たとえお金が雨となって降り注いできたとしても、欲望は満足することがない。』(真理のことは、佐々木閑訳より)という教えの言葉があります。欲望の抑制こそ最も大切なことを示唆しています。ブッダの時代、古代インドは広域な交易が盛んになり貨幣経済が隆盛となり新興商人の台頭などにより貧富の格差拡大という現在の社会状況と類似した様相を呈し、人々の心は安定を失いさまよっていたそうです。

生命科学分野においても人間の限らない欲求は、滑稽ともいえる不老長寿の研究や不老長寿社会の実現を目指しているようにさえ見えます。生殖医療、再生医療、臓器移植医療などは、生命倫理の根底を覆す危険をはらんでいます。しかし、限りのない長寿への願望、生体における機能と構造の完璧性の追求の先にある健康願望などは求めても叶うことのない欲望といえるのではないのでしょうか。限りある命と認識し、生の充実に価値を置くことこそ人生の幸福のもとと思われます。芭蕉は人生とは？との問いに『蛙飛びこむ水のおと』と答えたと言います。遠大な宇宙の営みから見れば人間の寿命は一瞬との悟りのことばとも言えます。獣医療はこの一瞬を輝かすための実践とも言えましょう。会員諸兄の精進が輝ける命に昇華することを祈念します。

会員並びにご家族の皆様にとって、輝ける新年を迎えられることを祈念して、本年最後の会報をお届けいたします。

(初雁)

お薬なのに、待ちきれない。

ノミ・マダニ駆除薬に、おいしい大発明。



フロントラインシリーズ

NexGard®

ネクスガード®



新発売



販売元



日本全薬工業株式会社
福岡県郡山市安積町世川字平ノ上1-1

製造販売業者



メリアル・ジャパン株式会社
東京都新宿区西新宿3-20-2

製品に関するお問い合わせ



0120-499-419

ヨ クキク ヨ イクスリ

月～金

9:00～12:00

13:00～17:00

©メリアルの所有登録商標

ACTY



ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに
牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした
動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。
20世紀は抗生物質の時代、
21世紀は生菌剤の時代といわれるように、
健康に関する考え方も大きく変化してきています。
私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、
ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な
生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村8228
TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870
TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24
TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243
TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1
TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

アクティ株式会社

<http://www.acty-kk.com>